


# 一般質問

ると思われれます。方向性について伺います。

**市長** 地区住民と協議を行い、合意を得る中において、新市建設計画、総合計画等の見直しを含め、検討してまいります。

○学童保育の現状と問題点について  
○要支援の幼児に対する支援体制について



おさむ 宮 治  
の みや さん 三

**質問** 学童保育として福祉部の放課後児童クラブ、教育委員会の放課後子ども教室がありますが、それぞれの現状について伺います。

**市長** 放課後児童クラブ22カ所、児童館13カ所を設置し、水沢区では私立幼稚園を3園、私立保育園1園、児童センターを全面活用しているのが現状です。

**教育委員長** 国は放課後子ども教室の活動場所を小学校の空き教室の活用を基本としています。授業や行事等学校運営との兼ね合いで常設は困難です。子どもプランの見直しの中で検討してまいります。

**質問** 特別支援を要する幼児が在籍している公・私・幼稚園・保育

園それぞれに対する市の支援の現状と今後の方針について伺います。

**市長** 特別支援を要する幼児については市の保健士・児童療育指導員・臨床心理士が各園を訪問し、園との情報交換や、助言指導を行っています。

**教育委員長** 公立幼稚園の支援員は今年度6名を配置し、支援を行っています。私立幼稚園では、県の幼稚園特別支援教育経費という費用があると聞いています。

**市長** 子どもが通う園が、保育園か幼稚園か公立か私立かという状況で対応が変わることは基本的にありません。基本的にはあつてはならないことです。教育委員会と健康福祉部の垣根を



こばと幼稚園 放課後児童クラブ

きるだけ取って、組織の改革に力を入れます。行政の目線ではなく、市民の目線で対応できる組織を構築する努力をしてまいります。

○地区要望について  
○郷土食について



よしのり 藤田 慶則  
ふじた

**質問** 地区振興会等や住民組織・団体が、地域の課題・要望等につき地域住民の意向を取りまとめ、市当局に要望している地区要望について伺います。

**市長** 今年度7月下旬から8月上旬にかけて、地区要望を聞く会を開催する予定です。地域住民の生活に直結した要望事項が多く、市民生活の現状や直面する課題を把握できますが、限られた財源の中です。順次優先順位を考えながら進めます。要望事項の回答については、国・県の回答や財源の確保等市の財政状況を勘案しながら、全庁体制で対応してまいります。地区要望はよりよいまちづくりのために、とても大切なことです。ですので、しっかりと開催してまいります。

**質問** 郷土食で地域おこし、奥州市を代表する郷土料理、ご当地グルメの創出を考えますが、見解を伺います。

**市長** 伊達な広域観光圏の事業として、平成20年に「あんかけうどん」に官民挙げて取り組みました。郷土食を創出するには、民間事業者の積極的な参画をいただき、効果的な情報発信、誘客のためのソフテイイベント等の総合的に継続した実効性の高い施策を推進する必要があります。今後も食の匠等、農林及び観光関係団体、機関等と強力な連携をはかりながら、郷土食の掘り起こし、ないしは支援、普及等について検討を進めてまいります。



江刺の郷土食「あんかけうどん」